

①【東西町地域振興協議会】


発表テーマ：「住民参画がどのように形成されてきたか」

**～東西町地域振興協議会～**

米子市に隣接する46年前に開発された住宅地。  
農家や農地はほとんどなく、町内の他地区と比較して  
地域がコンパクトにまとまっている。

○東西町地域振興協議会  
事務所：在宅生活支援ハウスつどい  
設立：平成19年6月24日

【集落数：4】  
人口 1,196名  
世帯数 475世帯  
高齢化率 32.2%  
(平成27年11月末現在)



《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

■地域通貨・エコポイント・ありがとうポイントについて

No.	質問・助言・意見	回答・説明
1	地域独自のエコポイントのことをもう少し詳しく教えてください	<p>●開始のきっかけ：南部町が可燃ごみ減量化の施策を実施したのに伴い、20年12月～23年3月までの間、可燃ごみの減量と町づくりをつなげるようにと、独自のエコ推進運動を実施しました。</p> <p>●原資：町から、可燃ごみ減量化に参加することで5万円、更に5%減量化が達成できれば10万円、計15万円の補助金を原資とした。</p> <p>●方法：分別ごみの指定収集日に軟質プラスチック類とざつがみ(ティッシュペーパー箱より薄い紙)を排出した時に、立ち当番から、それぞれ1ポイント(20円相当)ずつスタンプカードにエコポイントを押してもらいます。ポイント5個以上で商品又は地域通貨(エコマネー100円)と交換できます。</p> <p>●地域通貨(エコマネー)の利用：東西町内で開催される行事(さつき祭や夏祭りの屋台、運動会のバザー、わくわくショップ、野菜市等)で金券として使用できます。また、事務所で指定ごみ袋やトイレットペーパー等の日用品と交換することもできます。</p> <p>●効果：以前は、軟質プラスチック類やざつがみは可燃ごみに出していました。この運動を開始したことで、可燃ごみが大いに減量されるとともに、ポイントカードをもって集積場に集まるということでコミュニティづくりや楽しみながら環境を考えることが出来た。また、行事の参加者も増え、エコ推進運動が終わった現在でも、引き続き可燃ごみの減量化に成果が出ています。</p>

《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

No.	質門・助言・意見	回答・説明
2	エコ・ポイントを全町に拡げる為に必要なこと、課題はありますか？	●まず地区での意識合成が必須である。併せて、リーダーの意欲。
3	ありがとうポイントの詳しい内容を知りたい	●詳細について：これから検討に入るが、協議会が認める様々な行事や事業に参加された方又は役員として協力していただいた方等にエコポイントと同様にポイントを押し、地域通貨を発行し、東西町内で開催される行事等で使用するというもの。 ●目的：地域行事への関心を仰ぎ、交流することによって安全で安心な町づくりにつなげることを目的とする。 ●原資：町が地区内の空地や空き家情報を提出することで、1件あたり3,000円の助成が出るので、それを原資に進めることにしたい。
4	事業活動にポイント制として地域通貨を利用することは（対価）本来の住民参加としては若干異なるのでは	●自主的な住民参加が理想であるが、待っていても始まらない。 ●住民が楽しみながら健康な生活を送り、交流することで町づくりへつなげることを目的とする。 ●その効果として健康寿命の延長や介護保険費、病院費用等の軽減になる効果が得られるのであればどんどんチャレンジするべきと思う。

■役員・人材について

No.	質門・助言・意見	回答・説明
5	部員の確保は大変であると思うが東西町として部員確保の取り組みについてお聞きしたい	①広報誌で公募 ②理事や班長は各班から順番制になっているので日頃あまり参加されないような方でも知り合いになれるチャンスがある ③4部ある部員は①で応募された方や、②で出られた方に声をかけることもある ④大きな行事等では実行委員会制で開催しているため、役員以外で協力していただけそうな方に協力依頼する。若い人にも積極的に声かけをし、役を任せ、次世代を育てる。 ⑤日頃から事務局がアンテナを立ててこの人という人には声かけを行い、勧誘する。部員からの推薦等もある。 ⑥役員の方には、達成感や仲間意識等を持ってもらい、大変だけど自分の住む町づくりに役立つ事を認識してもらおう。 ⑦年配のベテランが若い人を潰すようなことは絶対させない。 ⑧日頃から講座参加者、施設利用者等には得られた知識や健康を地域に還元していただきたいと言い続ける。長く言い続ける事で結果として現れてくる。

《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

■事務局について

No.	質門・助言・意見	回答・説明
6	事務局のリーダー性とは	●事務局のリーダー性とは地域の課題をしっかりと把握し、町づくりに対する想いを住民のみなさんに解ってもらい、協働する仕組みを作ることだと考えます。
7	東西町の将来の姿をどう描いておられるのか	●団塊の世代の子供達が戻って来て地区内の親の近くに住むことが増えて来た。 ●東西町は比較的新しい団地なので、以前からふる里づくり事業を行なってきたこともあり、一度地区外に出て行っても戻りたいと思える町づくりの成果だと思う。また、親にとっても子供達をこの町に住ませたいと思えるからだと思う。
8	社会福祉協議会との連携はどうしておられるのか	●平成21年「地域の福祉力」向上事業のモデル指定を受け、見守りの方法を学んだ。これが災害時の要援護者台帳の作成に生かされた。 ●協議会発足時に福祉部を作ったが、地区の課題であったご近所福祉に目が向けられていなかったが、社協のアドバイスで組織を変えた。これが現在の集落福祉で全国から注目される起点となった。 ●サロン活動についてもアドバイスをいただいている。
9	新しく転入して来られた方にどのように地域活動に参加してもらっているのか	●全戸配付の広報紙で紹介する。 ●班で歓迎会をされたりしているところもある。若い方であれば運動会には声をかけ参加を促している。中高年の方であれば、七夕会やクリスマス会等の合同サロンのものに声掛けをしたりして先ず地域の方を知ってもらうことに力を入れている。
10	地域の中で全戸が協議会員として入会しているか 会員になっていない家の対応はどうしているか	●会員外でも地区内に居住する方は見守る体制をとっている。 ●事業への参加については加入促進を図るため会員外は一部制限をしている。
11	ささえ愛台帳を個人情報保護との合意形成の過程は	●地域で行なっていることに関しての個人情報保護法は適用されない。 ●行政に頼らず自分達で集める。

■事業・活動について

No.	質門・助言・意見	回答・説明
12	取り組みはどこで決めていますか	●行事等の計画は各部に任せているが、各部に事務局の担当を置き、方向性を示すこともある。 ●方向性や大きな事業については、事務局内で話し合い計画する。
13	新しい取り組みを住民（グループ主体）でされる手法は	●町づくりに必要だと思う事業があったら、理解し、協力していただける住民の方を指名し、少し強引でも立ち上げる。
14	地域の方が興味、関心を持ってくださるような取り組みはありますか	●最近では、東西町を舞台にして、南部箕蚊屋広域連合（伯耆町、南部町、日吉津村）で初めて開催された認知症SOSネットワーク模擬訓練がある。
15	行事に参加された方の声は反省会で取り上げられていますか 参加していない方の声を吸い上げる方法は	●行事後に役員の反省会を行なっています。反省会に出席された方全員に発言をしていただき、誰がどんな発言をしたか、そのことについて事務局意見はどのようなかをまとめて次年度に活かしています。 ●参加されない方の意見は、事務局へ直接や、区会、一斉清掃の後の班会、行政要望、総会でも意見を言える機会があります。

《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

No.	質門・助言・意見	回答・説明
16	参加者の固定化はないですか	●ある程度の固定はあるが、昨年と全く同じということはなく、少しずつ新しい方も増えています。たくさんの方が参加されるように、広報と同時にとにかく声かけや仲間づくりを行なっています。
17	事業をこなすことを目的としないためにどのような具体的な配慮、取り組みをしておられるのか	●参加者が楽しんで居られて良かったで終わるのでなく、何のためにこの事業を行なっているのか、この事業の先にあるものを先ず、事務局や役員が共有し、繰り返し住民に伝えています。
18	参加できない世帯もあると思うが、個別にはどのような働きかけをしておられるのか	●様々な事業を展開しているのでどこかで参加していただきたい。 ●優先順位を変更させるほどに事業に関心を持たせること。
19	事業への人集め、参加者を増やすためのご苦労は何ですか	●住民が何に関心があるのか、如何に関心のあるタイミングに仕掛けるかが大事。
20	会報「まち」は協議会と合致するか	●毎月全戸配付の会報は、協議会事業推進には欠かせないもの。単なるお知らせで終わってはいけない。
21	活動の経費に会員の拠出はありますか	●東西町は従来からあった自治会活動を引き継いでいるので、協議会費として1カ月450円を負担していただいています。これは防犯灯の維持管理、夏祭り等の地区事業費等に充てています。役場からの交付金とは別にしています。
22	見守りは手上げ方式ですか？手上げの場合、手を上げないが気になる方はどうしておられますか	●見守りを希望される方の意向を重視し、誰に見守って欲しいのかも聞いて対応しています。 ●また、気になる方や、拒否される方でもお元気かどうか夜間の灯火を陰ながら見守り等を行なっています。
23	「西町の郷」の運営費・利用料は	●「西町の郷」は補助金と、利用者負担金でまかっています。 利用料は、利用者登録年間3,000円、1回利用するごとに300円(昼食代別)
24	空き家に住みませんか対応はいかに	●「東西町に住みませんか」をホームページに掲載している。 ●夏祭り時に帰省してきた方へも東西町の活動と地域に興味を持っていただくためにアドレスを配付している。

■高齢者・若年層について

No.	質門・助言・意見	回答・説明
25	高齢化率が現在32.3%ですが、5年、10年過ぎるとかなりの高齢化率になると思いますが、高齢や独居で買い物に出かけることができない人への支援は	●移動販売車の継続運行、買い物機会の提供のわくわくショップ、野菜市の開催がある。その他の移動販売業者でも、できるだけ利用してもらい、買い物機会の場を守って行くことも需要だと広報している。 ●「西町の郷」でボランティアヘルプサービスを行なっている。
26	若い方の参加はありますか。もしくは若い方の意見を聞く機会は（企画提案等）	●30年前から、子供育成会や中学育成会そして青少年育成会が協力しながら子供と保護者そして地域と関わりを持つような活動をしている。 多くの事業の企画に育成会の代表にも参加していただいている。

## 《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

### ■町外からの意見

No.	質門・助言・意見	回答・説明
27	地域通貨制度を環境だけに留めず幅広く展開していくことが重要だと思います（福祉・子育て）	●ありがとうございますポイントでは、健康づくりを含めた多くの部分で対応できるように考えています。
28	子供の保護者同士の集まりを次の地区の担い手につないでは	●保護者の中からリーダーを選任し若い人をまとめて若いグループをつくることを考えている。
29	住民を巻き込んでゆくメニューが多彩で関係者の方々の工夫が感じられた	
30	良いと思われることはどんどん実行される姿勢がすばらしいと思います。ここまでの活動をされていることに敬意を表します。頑張ってください	
31	琴浦町放課後児童クラブでは鳥取大学生がボランティアで定期的に参加していた。鳥大米子キャンパスの子供にかかわるサークルに声をかけてボランティアで参加してもらうのはどうか。ボランティアをきっかけで町にも興味を持ってもらえます。	
32	安心できる地域にプラス何かキラッと光る地域の特性、ブランドのようなものや（魅力が感じられるもの）紹介していただけると更に良かったのでは	
33	どうしてコミュニティーができたのか？リーダーになる方が多かったのか？ご教授ください	●他地域からの寄せ集めで出来た町のため、古い人も新しい人も平等に発言できる環境であったし、それを意識的に続けてきた。 ●以前の自治会と公民館も仲良くまとまりがあった。 ●行事開催は大変だがとにかく楽しく実施する。 ●リーダーを選出し適材適所に配置した。

### ■学んだこと

No.	質門・助言・意見
1	住民参画を進める手法、良いことはしつこく、タイムリーな課題を提案しつづけた
2	地域通貨を独自にされていることを初めて知った
3	大所帯の中でもコンパクトな取り組みとネットワークの良さがとても勉強になります
4	過去の公民館活動から振興協議会に変わっても尚、幾多の行事の開催がある。その都度消化することを目指していたが、東西町の消化することが目的にならぬようは勉強になった
5	東西町の中で良い循環をつくりだしておられること（子供へ、介護者へ、ありがとうポイントカード他多数）
6	ありがとうポイントカードは協議会をもっと知ってもらい、もっと参加してもらいのために良いことだと思う
7	団地特有の地縁血縁が薄い集落と思っていたが、住民参画をよくまとめられたと思います